

学校支援を積極的に進めよう

～ 未来へ受け継ぐ美合の宝 ～

岡崎市立美合小学校 P T A

■学区及び学校の概要

本校は岡崎市東部に位置し、乙川、山綱川など5つの河川が流れる自然豊かな地域である。国の天然記念物である「生田蛭」の飼育保護や河川美化を特色とした教育活動を展開している。

地域は農業が盛んで、学校でも借りた農地で米づくり体験や生き物探検をしている。地域との結びつきが強い学校である。



■研究のねらいと仮説

教育目標：心やさしくたくましい子の育成

- 美合の宝…ふるさと美合の人、自然、行事に対する愛着と誇り
- 「自ら考え、最後までやりとおす子」「心やさしく思いやりのある子」「心身ともにたくましい子」



未来へ受け継ぐ美合の宝

地域教材を学びに取り入れ、美合学区のよさを学ぶ体験活動の推進

◎仮説

学校と地域が協働してホタルの保護を軸とした環境学習や自然体験学習を推進していけば、友達や地域の人とふれあい、助け合う中で人のやさしさを感じるとともに学区への愛着を深め、ふるさと美合を誇りに思う気持ちを育むことができるだろう。

美合の心を育む活動



ホタル保護・飼育活動



米づくり



自然体験活動

◆地域教材・講師の活用 ◆地域の人や自然とのふれあい ◆それらを支える P T A 活動

■ 研究の実践

(1) ホタル保護・飼育活動を通して郷土愛を育てる

ホタル飼育部を中心に、ホタルの飼育活動を行っている。幼虫の世話をし、飛翔数や飛翔場所、産卵や生長の様子を観察、記録している。そのまとめを毎年、6月の生田蛭保存会総会、9月の敬老会で発表することで保護の大切さを訴えている。

毎年、山綱川の清掃活動、幼虫やえさであるカワニナの放流会を開催し、PTAや地域の方も参加する。5年度は、PTAと学校、地域が連携して、ホタル保護、河川美化を呼びかける標語を募集した。標語は看板にして、啓発活動の一つとした。

生田蛭とその保護活動は、学校、地域の宝であり、誇りとなっている。



【飼育活動】



【啓発活動会議】

応募された標語の一部

- ・ 清流に生田蛭と遊ぶ里
- ・ 蛭の光 ぼくらの希望



【河川美化を呼びかける看板】

(2) 米づくりを通して郷土愛を育てる

毎年、5年生が地域の方から借りている田んぼで、地域の方を講師として指導を受け、米づくりに30年近く取り組んでいる。今年も田起こしやしろかきなど、田植えができるよう準備してくださった。そのおかげで田植え体験を行うことができた。

育てた稲は、自分たちで刈り取った。講師と一緒に稲刈りをする中で、米づくりをしている方への尊敬と収穫への感謝の気持ちを育むことができた。山の学習では、収穫した米を飯ごうで炊きカレーライスにした。苦労して作った米の味は格別だった。



【田植え】



【稲刈り】



【飯ごう炊飯】

(3)自然体験活動や地域の方との交流を通して心を育む

4年生は、総合的な学習で環境をテーマに学習し、山綱川の水質検査をしたり、蛍の棲みよい環境を新聞にまとめたりした。地域の方から借りている「実験農地」では、1・2年生が季節ごとに植物や生き物を観察している。運動会では、毎年、地域の方を講師としホタル音頭を練習、全校児童と学区民みんなで踊るのが恒例である。



【水質を検査する4年生】



【地域の方とホタル音頭練習会】



【生き物探検をする2年生】

(4)子供たちの活動を支える「ちょこっとボランティア」

一部の人に負担が偏らないように、PTA・子供会役員の体制づくりを進めた。その一つが「ちょこっとボランティア」である。運動会の準備・片付けやマラソン大会の見守りなど、できる人ができる時間だけ参加し子供たちの活動を支えている。

主な活動

- 資源回収
- 山綱川清掃活動
- 運動会準備・片付け
- マラソン大会見守り
- 「おかざきっ子展」搬出・搬入
- サツマイモのつるの片付け
- PTA 新聞作成



【資源回収】



【サツマイモのつるの片付け】



【「おかざきっ子展」搬入】

■今後の課題

コロナ感染症の流行と収束に伴い、これまで取り組んできたPTA活動や学校行事などを見直し、保護者や地域の要望に耳を傾けながら改善を加えている。今後も、ふるさと美合の文化を未来へ受け継ぐため、学校・保護者・地域が一体となって持続可能な活動を目指していきたい。



【山綱川清掃活動】